

2016年度事業計画

①入試・広報

計画名	計画内容
入試制度別の募集戦略	・各入試制度・インセンティブ(奨学金)を見直し等
ターゲット別フォローの実施	・接触者のターゲット別にWEB・DMを通じてフォロー
高校生対象 授業公開イベントの実施	・なりたい自分発見カリキュラム(初年次教育)、アクティブラーニング型授業、学科・コース単位で学べる授業等をリストアップ。 ・祝日授業日での実施を予定。
「流通」をわかりやすく高校生に伝える	・「流通」をわかりやすく高校生に伝える ・現在の高校生に伝わるように高校教員、高校生を交え、事例等を作成する。
新学長広報	・新学長広報(新聞掲載…兵庫の企業トップの連合企画等)
大学の魅力、オンリーワンの広報活動	・在学生・保護者・卒業生への情報発信。 ・高校生及びステークホルダーへの広報(HPの強化)。 ・流通関連企業への広報(流通用語集、震災と流通研究会等)。
蛍光灯のLED化、トイレの洋式化	・蛍光灯のLED化、トイレの洋式化により、講義棟Ⅰ、講義棟Ⅱのトイレについて学内施設の充実をはかる。学生満足度向上とも連動
観戦用ベンチの設置	・西側グラウンドでクラブの試合がある際に、見学に来た家族の観戦用にベンチを設置。学生満足度向上とも連動
レストラン備品リニューアル及びメニュー変更	・レストラン備品リニューアル 2015年度に丸箸の導入を実施。2016年度はスプーン、フォーク、ナイフ、食器のリニューアルを実施。 ・メニュー変更 学生提案メニューの定番化 ⇒提案した学生で売上の高かった学生への表彰、オープンキャンパス等での提供を予定。留学生から「母国料理紹介」等のお題目で国際色豊かな変わった料理の提案など。 学生満足度向上とも連動
高校との関係づくり	・協定校の拡大(商業高校等) ・母校訪問企画の内容充実
話題性のある流科大づくり	・話題性のある流科大づくり(高大連携共同イベント実施等)

②個々の学生に対するアドバイザー機能強化

計画名	計画内容
学生の学内滞留時間アップ (学内施設におけるハード面、ソフト面の改善)	・学内施設について、学生が目的に沿って利用できる場(クラブ活動(文化会)、自習、グループワーク室、ラーニングcommons、プレゼンテーション練習、憩い等)について、既存施設を有効活用し、学生にも施設の使用用途が分かり易いように広報する。
生活習慣の改善	・レストラン100円朝食、100名/日の集客 入学時に新入生への告知を徹底的に行う(新入生クラス担任からの声掛け等)。
成績不振者へのフォロー	・低単位取得者フォロー 学修支援ガイダンス、学生・保護者との面談を定期的実施 低単位となりそうな学生の早期発見と対策 ・学修相談会 低単位取得者に限らず、申込制とし、ゼミ教員と学生・保護者との面談を実施
学力優秀層へのフォロー	・RYUKA特別奨学金受給者対象に教職員が定期的な面談を行い、各種人材育成プログラム、資格系教育プログラム(教職、公務員、グローバルスタディーズ、簿記会計など)、業界別学生生活モデル、学内奨学金・表彰制度等を伝え、「なりたい自分」に向けて進んでもらえるようフォローする。

③なりたい自分に近づぐための学生生活モデル(履修モデル等)構築 ※4年間の学びを可視化

計画名	計画内容
進路別学生生活モデル(履修モデル含む)の作成	・学生にとって就職イメージから必要となる履修すべき科目および学生生活モデルが明瞭となる体系図を作成する(約40業種を予定)。
なりたい自分発見カリキュラムの拡大(改善)	・地域創生に関連した交流プログラムを新設し、新たな気づきのきっかけを与える内容とする。 ・フィールドワークを少人数で実施することによって、学生が目的意識を持った行動をし易い内容とする(フィールドワーク先の改善等)
人材育成プログラム(新規及び継続)	・マーケティング人材育成プログラム(新規) ・地域人材育成プログラム(新規) ・事業承継者育成プログラム(継続) ・観光人材育成プログラム(ホテル、旅行コース)(継続) ・リテール人材育成プログラム(継続)
アクティブラーニングプログラム	・学生の満足度、達成感向上のため、形に残る商品開発型連携活動の強化(特に食品メーカーなど商品化しやすい企業との連携を強化。単年度で終わるのではなく、数年間の連携を重視)
新奨学金制度へのエントリー推進	・成績だけでなく課外活動等も含めて、本校の校是である「ネアカのびのびへこたれず」の精神を踏まえ、それに相応しい学生を対象に新奨学金制度を創設。エントリー募集時期(4月～6月)等について、各クラブの顧問・副顧問や学内ポータルサイト等を通じて広報する。
りゆうかチャレンジ奨励制度への参加推進	・学生が自ら成長するため、より高い目標に向けて自主的にチャレンジすること、学内外のプログラムに自ら進んで積極的に参画することについて広く奨励する制度を創設。多くの学生がチャレンジできるよう学内広報を実施。
学生主体のアクティブな活動推進	・りゆうか祭、国際交流プログラム、学園夏祭りなど、学生が主体となった活動を推進し、活力ある大学づくりを目指す
図書館イベントの実施	・選書ツアー ・書評コンテスト ・学修支援センターとのコラボレーション企画 図書館独自の特集企画だけでなく、学修支援センターと連携し大学での学びに活かせる図書を紹介し読書や学びを推進

④クラブ活動の更なる活性化

計画名	計画内容
クラブ加入率アップに向けた施策	・入学式終了後は通常勧誘とし、別の土曜日に勧誘イベント(クラブフェスタ)を開催する――1年生全クラス参加 ・文化会系、女子対象クラブの強化(吹奏楽団、ESSなど) ・大学生になってから取り組みやすいクラブ(和太鼓、ラクロス、少林寺、ダンスなど)を重点的に強化
留学生向けイベントの開催	・留学生向けイベントを実施する学生スタッフを募集し、その学生で運営サークルを立ち上げ、その後のクラブ化を目指す。 (日本文化体験、各国文化交流会、ボットラックパーティ等の実施)
学生・保護者・教職員の帰属意識につながるクラブ活動支援	・応援バス(入れ替え戦時) ・試合結果、報告を試合の写真画像を掲示するなどして周知する
環境整備	・クラブ所属学生の増加に伴う練習環境の整備(施設、アスレチック棟運用ルールなど)

⑤地元企業を中心としたネットワーク強化

計画名	計画内容
兵庫県内本社所在企業(地元企業)とのネットワーク強化	・本学とのネットワーク強化、採用依頼、学校推薦依頼、インターンシップ強化を行い、結びつきを強める。
中四国県内本社所在企業とのネットワーク強化	・地方出身の学生に対して、地元の代表的企業への就職ルート拡大
ルールマナー・規律性を身に付ける仕組みづくり	・クラブ顧問・副顧問によるルール・マナー指導
学生とのコミュニケーションツールの強化(就職関連)	・LINEを就職活動学生との情報連絡ツールとして導入し、タイムリーな情報提供及び学生からの情報レスポンスの強化を図る
就職活動に必要な知識・スキルを修得する支援行事実施	・就職ガイダンス ・就職対策宿泊セミナー ・面接練習・グループディスカッション練習 ・筆記試験対策、模擬試験 ・就職父母懇談会 ・キャリアチューター、キャリアリーダー制度 ・学内企業説明会、業界研究セミナー

⑥その他

計画名	計画内容
中内学園中長期計画(第二次)に則った2016年度事業の推進および進捗チェック	・2016年度事業計画および予算の進捗チェック ・2017年度事業計画および予算の作成
本学ステークホルダーを対象とした第5回ネアカ塾の開催	・中内功の遺志を継承し、生涯学習の機会を提供してきたネアカ塾について、受講対象を今までの地域住民中心から、本学学生の保護者、高校教員等にも拡大し、大学の教育資産をステークホルダーへ還元する。
「リテール(流通)の重要性と役割」研究推進	・小売企業への「小売・流通用語集」、「震災と流通研究会」講演録(制作予定)配布による本学の「流通」アイデンティティ向上
保護者行事の充実と実施	・教育後援会総会、父母懇談会、授業公開、就職相談会・講演会、バスツアー、クラブ応援バス、りゅうか祭への出店などの保護者行事の充実と実施 ・全体表彰式、特別講義受講、学園都市大学対抗ゼミ企画プレゼンテーション大会など保護者が参加できる行事の案内

⑦教育後援会

計画名	計画内容
レストラン備品リニューアル及びメニュー変更	・レストラン備品リニューアル
生活習慣の改善	・レストラン100円朝食
学生主体のアクティブな活動推進	・りゅうか祭、国際交流プログラム、学園夏祭り
図書館イベントの実施	・選書ツアー、書評コンテスト
クラブ加入率アップに向けた施策	・クラブ活動支援
留学生向けイベントの開催	・日本文化体験、各国文化交流会、ポットラックパーティー
学生・保護者・教職員の帰属意識につながるクラブ活動支援	・応援バス(入れ替え戦時など)
環境整備	・練習環境の改善
学生とのコミュニケーションツールの強化(就職関連)	・LINE等コミュニケーションツールの導入
就職活動に必要な知識・スキルを修得する支援行事実施	・就職ガイダンス、宿泊セミナー、就職父母懇談会等

⑧有朋会(流通科学大学 同窓会組織)

計画名	計画内容
有朋会賞制定	・2015年度卒業式より有朋会賞を贈呈。 ・表彰対象基準の設定(中内賞、流通科学大学賞の対象以外の項目) ・在学生への広報及び、有朋会会員への広報(会報誌及びWeb)
卒業生ネットワークの強化、名簿整備	・2016年度ホームカミングデー 日時:2016年8月6日(土) 会場:本学会場を始め全国各支部にて同日開催 内容:フェイスブックを通じて全国どこでも参加できる仕組みを予定 ・学びの場の提供 大学の特別講義受講無料の情報発信(講師一覧をタイムリーにWebで情報発信) 教員と卒業生の交流の場を設ける ・各支部の活性化 新会員を対象に4月に各支部の情報を発信。新会員対象の交流会を各支部で4~6月の間に実施し、新会員参加者の名簿情報収集。 ・名簿管理
母校への寄与	・卒業後も母校と接点を持つ機会を増やし、母校の取り組みについて協力、貢献できるように働きかけを行う(社会連携企業の紹介、就職相談等)。
カード利用の促進	・新会員の勧誘及び利用促進対策(特典の検討等)